

令和7年3月31日策定

三戸町地球温暖化対策実行計画 別紙

1. 策定の趣旨

公共施設へ再生可能エネルギー導入検討のため、(一社)地域循環共生社会連携協会から交付された環境省補助事業である令和5年度(補正予算)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し、公共施設への太陽光発電FS調査を実施したので、調査結果を三戸町地球温暖化対策実行計画別紙として定めるものです。

2. 関連項目

第6章 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

6-4 目標達成に向けた取組

(2) 具体的な取組

④ 再生可能エネルギーの導入

3. 調査期間

令和6年8月6日から令和6年12月27日

4. 調査事業者

株式会社 建設技術研究所

5. 調査の流れ

本調査では、三戸町が所有する全施設(敷地を含む)118施設の内、太陽光発電が導入可能な施設(敷地を含む)を調査しました。

まずは全施設から旧耐震基準等、明らかに太陽光発電設備設置不可の施設等を除外し、調査対象施設(23施設と学校跡地2ヶ所)を抽出し、次に調査対象施設に対して事前調査を行い、太陽光発電に有望な施設(10施設と学校跡地2ヶ所)を選定しました。

さいごに、有望施設に対して現地調査と電力量データを元に、太陽光発電の経済性やCO₂削減効果を評価して、太陽光発電設備を優先的に導入すべき施設を特定したものです。

6. 調査結果

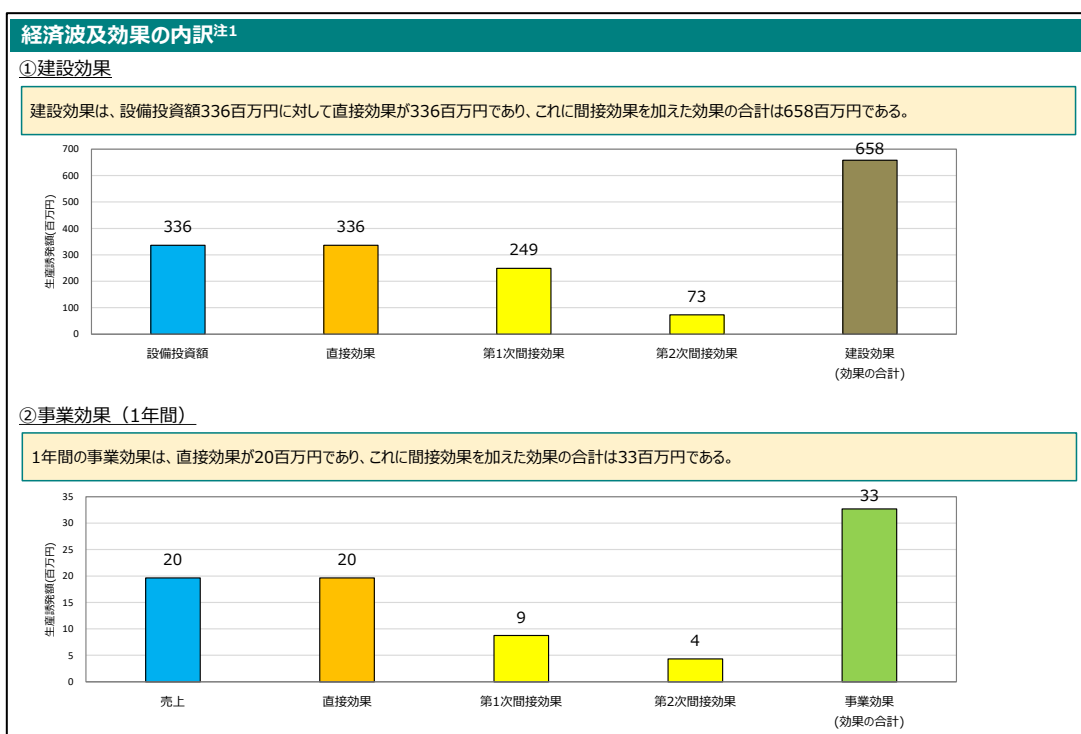
(1) 太陽光発電設備導入による効果

三戸町が所有する施設や未利用地の中から、太陽光発電設備導入可能な施設等を選定しました。また、導入する太陽光発電容量は経済性や環境性を踏まえて最適化しました。その結果、削減電力量やCO₂削減量が次の表のとおりとなりました。

施設No.	施設名	太陽光発電容量	削減電力量	CO ₂ 削減量
		kW	kWh/年	t-CO ₂ /年
1	アップルドーム	32.5	29,356	13.2
2	三戸小中学校	154.0	137,017	51.1
3	三戸中央病院	400.2	352,394	164.3
4	ジョイワーク三戸・図書館	10.0	9,033	4.3
5	斗川小学校	3.0	2,759	1.3
6	三戸浄化センター	22.0	20,113	9.5
7	三戸町役場	18.4	14,437	6.8
8	道の駅さんのへ	20.0	17,507	8.2
9	斗川児童館	5.8	4,709	1.9
10	三戸町老人福祉センター・中央児童館	2.0	1,776	0.8
11	旧三戸中学校跡地	1,001.8	961,310	221.3
12	旧斗内小学校跡地	208.3	199,881	58.4

(2) 太陽光発電導入に伴う地域経済への波及効果

太陽光発電設備導入効果として、地域経済への波及効果を試算しました。試算には環境省の分析システムを用いました（地域外への流出を考慮しない場合の効果）。



出典：環境省地域経済循環分析ツールより作成